

変貌する日本企業の統治構造：制度変化と組織的多様性

Corporate Governance in Japan

Institutional Change and Organizational Diversity

《編者》

青木 昌彦 (Masahiko Aoki), スタンフォード大学名誉教授、経済産業研究所元所長

Gregory Jackson, Senior Lecturer in Strategy & Comparative Management, King's College, London

宮島 英昭 (Hideaki Miyajima), 早稲田大学商学学術院教授、経済産業研究所ファカルティフェロー

OUP UK より 2007 年 9 月出版, 416 ページ, 23.5x15.5cm, 978019 9284511

税込価格 13,125 円

本書の課題は、近年の日本企業の統治構造の変貌を可能な限り体系的・実証的に解明する点にある。バブル崩壊から10年以上を経て、日本企業システムにいかなる変化が生じているのか。こうした変化は、戦後日本企業の本質的变化と捉えることができるのか、それとも外部環境に対する適応と考えるべきか。各経済制度に生じた変化はどのような相互関連にあるのか。また、変貌しつつある企業統治はパフォーマンスにいかなる影響をあたえているのか。これらが本書の解明を試みる問題である。

本書は、Aoki and Dore eds, *The Japanese Firms*, Oxford University の直接の後続でもある。1994 年に出版された同書が、日本企業システムに対する内外の高い評価を背景として日本企業に固有の特性がいかなるメカニズムを通じて競争力の向上に寄与したのかを解明したとすれば、本書は、日本企業システムに対する劇的な評価の転換を背景に、かつてプラスに評価された日本企業システムがいったいなぜ長期停滞をもたらしたのか、この間、日本企業に何が生じたのか、そして、日本企業はいまどこに向かっているのか、という問いに解答を与える試みと言えよう。

本書のメッセージを大胆に要約すればこうなる。しばしば「失われた10年」といわれるこの時期は、日本企業が様々な改革を試みた「実験の10年」として記憶されるべきである。外部ガバナンス(投資家との関係)は大きく

変化し、資本市場がビジネスモデルを評価するシステムに進化した。他方、企業の内部ガバナンス(取締役会・報酬体系、雇用システム)の変化は相対的に小さく、内部昇進者が実質的な権限をもつという基本的特徴は維持されている。したがって、日本企業はハイブリッドな特徴を持ち始めた。また、内部ガバナンスを見ると、委員会設置会社に移行したり、外部取締役制度を導入するなど米国型に接近する改革を試みる企業と、執行役員制の導入・監査役会の整備など従来型の組織の洗練を試みる企業とに分化し、企業間の多様性が上昇した。しかも、伝統的な日本企業の特性は企業パフォーマンスに負に作用し、その方向はいずれであれ、改革を継続的に試みる企業のパフォーマンスは相対的に高い。したがって、企業統治改革における焦点は、資本市場からの圧力が弱く、いぜんインサイダーコントロールの可能性が高い伝統的な日本型企業である。

本書は、独立行政法人経済産業研究所のコーポレートガバナンス研究グループの共同研究の成果である。各章は、内外の第一線の経済学、社会学、法学者によって執筆され、全体として日本企業の統治構造の変容の全貌がわかる構成となっている。日本企業の組織と行動に関心をもつ研究者、さらに、日本企業の今後の新たな「かたち」に関心をもつ実務家の方々にも是非本書を手にとってもらいたい。

(宮島 英昭)

《CONTENTS》 1. Introduction: The Diversity and Change of Corporate Governance in Japan, *Gregory Jackson and Hideaki Miyajima* **Changes in Ownership and Finance** 2. Relational Banking in Post-Bubble Japan: The Coexistence of Soft- and Hard-Budget Constraints, *Yasuhiro Arikawa and Hideaki Miyajima* 3. The Unwinding of Cross-shareholding: Causes, Effects, and Implications, *Hideaki Miyajima and Fumiaki Kuroki* 4. Foreign Investors and Corporate Governance in Japan, *Christine Ahmadjian* 5. Venture Capital and its Governance: The Emergence of Equity Financing Conduits in Japan, *Nobuyuki Hata, Haruhiko Ando, and Yoshiaki Ishii* 6. Corporate Governance in Financial Stress: The New Role of Bankruptcy, *Peng Xu* 7. The Rise of Bank-Related Corporate Revival Funds, *Noriyuki Yanagawa* **Changes in Organization, Employment, and Corporate Bonds** 8. Business Portfolio Restructuring of Japanese Firms in the 1990s, *Tatsuya Kikutani, Hideshi Itoh, and Osamu Hayashida* 9. Corporate Finance and Human Resource Management: Some Recent Survey Evidence, *Masahiro Abe and Takeo Hoshi* 10. Employee Participation, Adjustment and Distributional Conflict, *Gregory Jackson* 11. The Turnaround of 1997: Changes in Japanese Corporate Law and Governance, *Zenichi Shishido* 12. The Performance Effects and Determinants of Corporate Governance Reform, *Hideaki Miyajima* 13. Insider Management and Board Reform: For Whose Benefit?, *Ronald Dore* **Diversity and Institutional Change** 14. Organizational Diversity and Institutional Change: Evidence from Financial and Labor Markets in Japan, *Mari Sako* 15. Conclusion: Wither Japanese Corporate Governance? Toward External Monitoring of Internal Linkage, *Masahiko Aoki*